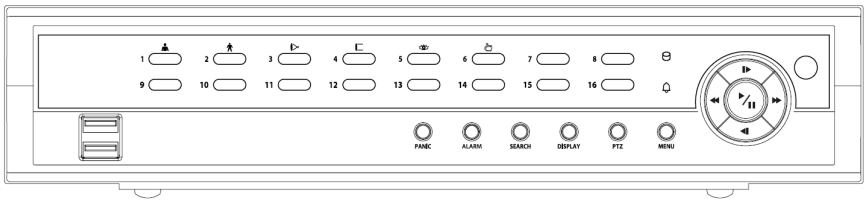
【2】クイックオペレーションガイド

ネットワークレコーダー

SNRE-1600/800/400



このたびは、ネットワークレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、主にネットワークレコーダーの基本的な操作方法について解説するクイックオペレーションガイドです。

詳しい使用方法については、取扱説明書をご参照ください。

本製品の取扱説明書は、以下の Web からダウンロードしてご利用ください。

http://www.selco.ne.jp/

本書とクイックインストレーションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

本書は 16ch 機で説明していますが、適宜 8ch や 4ch に読み替えてください。

【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社

E-mail：support@selco.ne.jp

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

AT-514B-88

★起動／終了

1．起動する

1）AC アダプタと電源コードを本機とコンセントに接続すると本機が起動します
本機には電源スイッチがありません。電源に接続すると起動を開始します。

2）本機が起動するとライブ監視画面になります。
登録されたカメラの中に接続できないカメラがある場合、その入力チャンネルを「映像信号なし」と見なし、本体内蔵のアラーム音を鳴らします。すべての入力チャンネルに映像信号がある場合、アラーム音は鳴りません。

【参考】
以下の手順で、起動時のアラーム音を止めてください。
(1)前面パネルの ALARM ボタンを押すとログイン画面が表示されます。
(2)決定を押します（初期状態ではパスワードは設定されておりません）

2．終了する

(1)ライブ監視画面でマウスを画面右に寄せるか MENU ボタンを押して、リアルタイム監視メニューで「設定」を選択し、「設定」画面の「システム」を選択し「システム終了」を選択します。
(2)確認画面が表示されるので、「システム終了」を選択します。
(3)右図の画面が表示されたら、電源コードを本機から外してください。

【参考】
マウスを使用しての操作が簡単です。
リモコンまたは前面パネルのボタンでも操作可能です。
前面パネルでの画面操作時は、方向ボタン（▶I、◀I、◀◀、▶▶）で上下左右にカーソルの移動、中央ボタンが、エンター、MENU ボタンが「キャンセル」として使用できます。

リアルタイム監視メニュー

「設定」画面

★主要出荷設定値

本機の出荷時の主な初期設定値を以下に示します。必要に応じて、変更してください。
初期設定では、電源が投入され起動が完了すると、登録されたカメラの録画を開始します。

1）ユーザー名、パスワード
・初期のユーザー名は“admin”、パスワードはなしです。

2）スケジュール録画（リアルタイム監視メニューの「設定」、「録画」－「スケジュール」）
毎日、24 時間、登録されたカメラ入力を連続録画＆イベント録画する設定になっています。
上書録画は有効になっていますので、ハードディスクの残量がなくなると古い録画から上書きします。
・連続録画　　：録画ビデオプロファイル　最高画質（ストリーム 1）
・イベント録画　：録画ビデオプロファイル　最高画質（ストリーム 1）
（録画の解像度と画質と毎秒コマ数は「カメラ」－「ストリーム」で設定します。）

※イベント録画の各イベントは設定されておりません。イベント録画を実施する場合、各イベントの設定を行ってください。

3）時刻

本機は、出荷時に時刻設定を行い出荷しておりますが、念のために以下の手順で確認をお願いします。

1）「設定」画面を開き、「システム」を選択し、「日時/時間」を選択します。

2）日付、時間、標準時間帯が表示されるので、正しいか確認し、必要に応じて修正して、「保存」します。
修正が不要の場合、「キャンセル」で画面を閉じます。

3）ネットワークに接続してお使いの場合、定期的に時刻補正をするタイムサーバーを使用することができます。

(1) ご使用のネットワーク環境にあわせて、「設定」画面の「ネットワーク」の「WAN」画面を設定し、ネットワーク接続してください。

(2) 設定画面で、「システム」を選択し、「日時/時間」を選択します。
「タイムサーバー」を選択して、タイムサーバー画面を表示します。

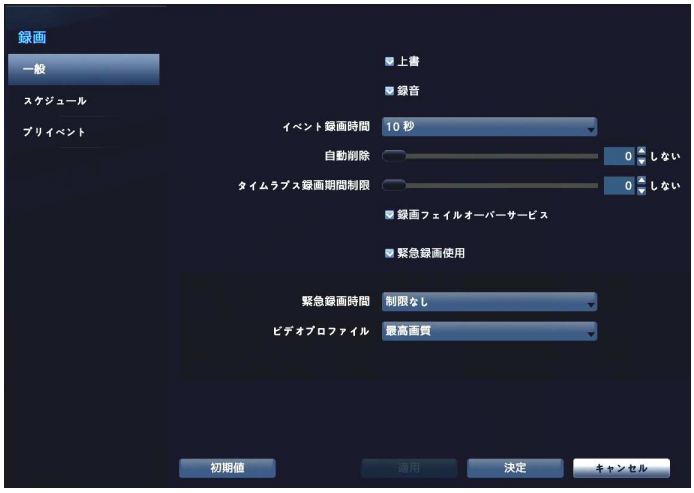
(3)「自動調整」にチェックして、タイムサーバー欄に、表示される仮想キーボードを使って 210.173.160.27 と入力するか、★を選択してリストよりご希望のタイムサーバーを選択して、調整間隔を設定してください。[決定]を押して確定し、「保存」ボタンを押すと、一定時間毎にネットワーク経由で時刻を補正します。

★各種設定（基本項目）

1．「録画」－「一般」設定

1）リアルタイム監視メニュー画面から、「設定」を選択します。

2）「録画」を選択して、以下の「一般」設定画面を表示し、必要な項目を設定します。



上書 （する）	録画ディスクが一杯になると古いデータから消去され新しいデータが保存されます。 「上書」を解除した場合は、録画ディスクがいっぱいになると録画が中止されます。
イベント録画時間 （5 秒）	イベント発生時の動作で「録画」が指定されている場合、この「イベント録画時間」で指定した時間だけ連動して録画されます。（5 秒～30 分の範囲）
録音　（しない）	映像を録画する際、音声入力も同時に記録します。（録音するには[カメラ]-[オーディオ]の設定も必要です。）
自動削除　（しない）	設定した期間が過ぎたら録画データを削除することができます。 削除可能な期間は 1 日（最小）～999 日（最大）まで設定できます。 自動削除機能を使用しない場合には「しない」に設定してください。 例えば、 「自動削除」を選択して期間を「30 日」に設定すると現在時刻より 30 日前以降の時刻録画データのみ保存し、それより古い録画データは自動に削除されます。 録画データは毎日 0:00 に自動削除され、「自動削除」設定を変更するとすぐに適用されます。 （設定された期間以前の録画データが削除されます。）
タイムラプス録画期間制限	（本書では説明を省略します。取扱説明書をご参照下さい。）
緊急録画使用（する）	設定した録画スケジュールに関係なく前面パネルの「PANIC」ボタンを押すと録画されます。 初期設定は緊急記録時間（制限なし）、ビデオプロファイル（最高画質）となっています。必要に応じて、設定してください。

設定変更後に「保存」を選択して、変更した設定を保存してください。設定画面左下の 「初期化」ボタンを選択すると、設定値が初期値に戻ります。

2.「録画」－「スケジュール」設定

1）リアルタイム監視メニューから、「設定」を選択します。
2）「録画」設定から「スケジュール」を選択し、以下のスケジュール画面を表示します。

3）「スケジュールオン」のチェックが入っていれば、設定したスケジュールに従い録画を行います。

■番号　　スケジュールの番号です。
■曜日　　スケジュールを設定したい曜日を設定します。
■範囲　　スケジュールを設定したい時間を設定します。
■モード　　「録画しない」「連続録画」「イベント」「指定時間及びイベント」から選択します。
- 「録画しない」　　：緊急録画以外には録画を行いません。
- 「連続録画」　　：設定された日時内で常に録画を行います。
- 「イベント」　　：設定された日時内でイベントが発生した場合のみ録画を行います。
- 「指定時間及びイベント」　：設定された時間内で常に録画を行い、イベントが発生した場合にはイベント録画で設定した画質、ips（コマ数）で録画を行います。

■チャンネル　スケジュールを適用するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れたカメラチャンネルにスケジュールが適用されます。（単純モードに限る）
■設定　　このスケジュールに適用する「ビデオプロファイル」を設定します。
「ビデオプロファイル」は「カメラ」－「ストリーム」の「録画ビデオのプロファイル」と関連します。
■　＋　　スケジュールを追加します。

3.「カメラ」－「ストリーム」設定

録画の解像度、画質、毎秒コマ数を設定します。

1）リアルタイム監視メニューから、「設定」を選択します。
2）「カメラ」設定から「ストリーム」を選択し、以下のストリーム設定画面を表示します。

■カメラチャンネル　　設定するカメラを選択します。 ボタンで別のカメラに設定をコピーできます。
■ストリーム　　カメラから出力される映像ストリームの解像度、画質、ips（毎秒コマ数）を設定します。
■監視ビデオプロファイル　ライブ監視画面で使用する映像ストリームを、分割画面ごとに設定します。
■録画ビデオのプロファイル　録画する映像ストリームを設定します。「録画」－「スケジュール」の「設定」と関連します。
■遠隔設定　　遠隔監視ソフトのライブ監視画面で使用する映像ストリームを設定します。

【参考】
「ips」が高いほど、また「画質」、「解像度」が良いほど録画映像の保存に多くのハードディスク容量を必要とするため、録画可能時間が短くなります。

4．アラーム入力イベント設定

1）リアルタイム監視メニューから、「設定」を選択します。

2）「イベント」を選択し、「アラーム入力」を選択します。

■番号　　接続したカメラ（1-16）と本機背面のアラーム入力端子（17-20）に対応します。

■タイトル　　アラームにタイトルをつけることができます。タイトルはイベントログに表示されます。

■タイプ　　ＮＣまたはＮＯを選択します。
取り付けたアラーム機器に合わせて設定して下さい。設定が異なると誤作動の原因となります。

3）「動作」を選択し、アラーム入力があった場合の動作を設定します。

■録画　　当該番号のアラーム入力があった場合に、連動して録画するカメラチャンネルを設定します。
複数選択することも可能です。

■アラーム出力　アラーム入力があった場合に、カメラのアラーム出力端子や本機背面のアラーム出力端子やアラーム音の ON/OFF を選択することができます。

（「通知」「PTZ」「外部モニター」「イベントモニタリング」は本書では説明を省略します。取扱説明書をご参照ください。）

アラーム入力設定画面

動作設定画面

5．モーション感知イベント設定

1）リアルタイム監視メニューから、「設定」を選択します。

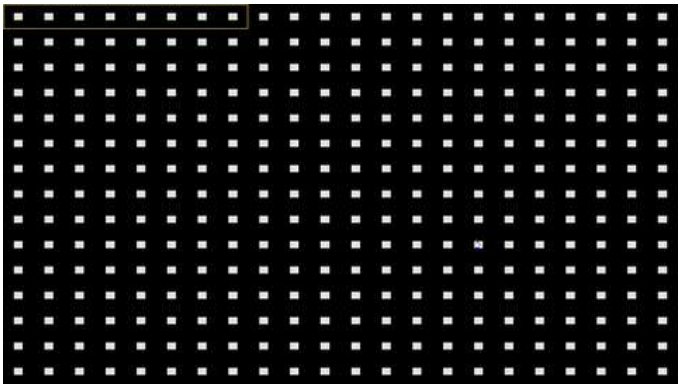
2）「イベント」を選択し、「ビデオ分析」を選択し、「モーション」を選択します。

3）「番号」にチェックを入れると、その番号のカメラチャンネルのモーション感知がオンになります。

■番号　　カメラチャンネルに対応します。

■感度　　昼間と夜間のそれぞれの感度を設定します。
1（低感度）～5（高感度）から選択します。（夜間は映像ノイズが多くなるので低く設定します。）

■エリア　　撮影画面のうち、モーション感知を行うエリアを設定します。
ブロックのある部分についてモーション感知を行います。（ブロックがない部分については、画面内に動きがあってもモーション感知を行いません。）
方向ボタン、カメラ番号ボタンとエンターボタンでブロックの ON/OFF を選択します。



■が表示されているエリアのみ、モーション感知します。

■ミニマムブロック　設定した個数以上のブロックで同時に変化が発生した場合のみ、モーション感知を行います。
昼間と夜間のそれぞれで設定できます。

■動作　　モーション感知時に行う動作を設定します。（アラーム入力イベント設定の「動作」を参照してください。）

■インターバルを無視　最初のモーション感知以降、設定した時間内に発生するモーション感知に対してイベントログを残しません。ただし、録画は設定どおり行います。

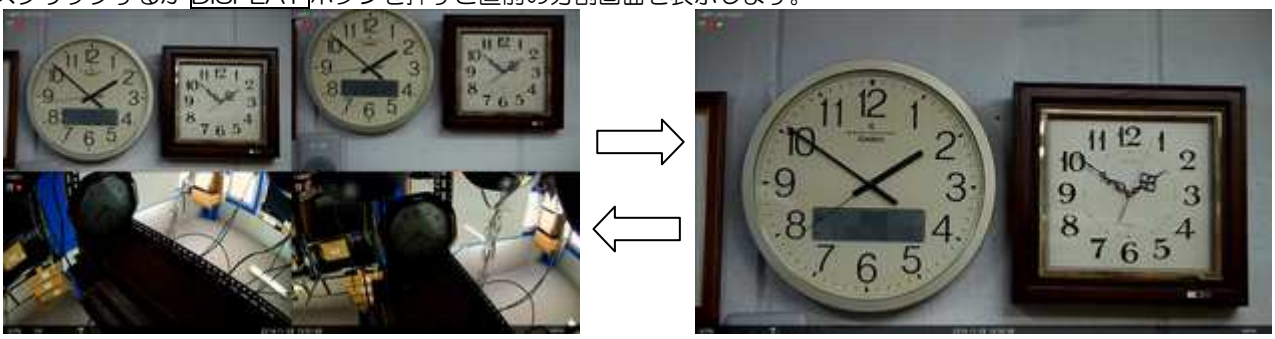
■昼間設定　　昼間時間範囲を 15 分単位で設定でき、指定した時間範囲以外は夜間に区別されます。

【参考】
モーション感知とは
カメラで撮影している画面内に動きや明るさの変化があった場合、それを感知して録画やアラーム出力などを開始する機能です。ただし、変化が非常にゆっくりである場合や変化のある範囲が非常に狭い場合、感知されないことがあります。

★ライブ映像監視

1）ライブ映像を監視する。
カメラが接続されているチャンネルの映像が表示されます。
映像の録画を行っている場合、各チャンネル画面の左上に●（赤丸）が表示されます。

2）１つのカメラチャンネルの映像を表示する。
表示したいカメラをマウスクリックするかカメラ番号ボタンを押すと、そのカメラの映像を全画面表示します。もう一度マウスクリックするか DISPLAY ボタンを押すと直前の分割画面を表示します。



3）画面表示を切り替える。
リアルタイム監視メニューの または、 DISPLAY ボタンを押すごとに分割画面：４分割画面→９分割画面→16 分割画面の順で切換わります。（リモコンの LAYOUT ボタンで分割画面を切換えることもできます。）

4）映像をフリーズ（一時停止）させる。
リアルタイム監視メニューの またはリモコンの FREEZE ボタンを押すと、ライブ映像をフリーズさせることができます。もう一度 または FREEZE ボタンを押すと、フリーズが解除されます。
（ライブ映像をフリーズさせても、録画は通常通り継続されます。）

5）緊急録画を行う。
リアルタイム監視メニューの または PANIC ボタンを押すと緊急録画が開始されます。
緊急録画中は、各カメラチャンネル左上に アイコンが表示されます。

【参考】
緊急録画とは？
スケジュール設定で録画しないよう設定している時間帯であっても、 または PANIC ボタンを押すと録画を開始します。もう一度 または PANIC ボタンを押すと、緊急録画が停止します。ただし、録画設定で緊急録画期間を設定している場合、緊急録画開始から設定した時間が経過すると自動的に緊急録画を停止します。

★録画映像の再生・検索

1．録画映像を再生する

1）ライブ監視画面でリアルタイム監視メニューから「タイムラプス検索」を選択して再生（検索）モードに入ります。
（または、前面パネルの SEARCH ボタンを押すと、再生（検索）モードに入ります。 もう一度押すと、ライブ監視モードに戻ります。
リモコンでは、いずれかの再生ボタンを押すと再生（検索）モードに入り、■停止ボタンを押すとライブ監視モードに戻ります。）

2）マウスを画面下部に移動すると録画テーブルが表示されます。

再生操作は、 再生、 一時停止、 高速再生、 高速逆再生です。高速再生と高速逆再生は、ボタンを押すたびに速度が変わります。
録画テーブルのグラフをマウスクリックすると時刻を移動することができます。

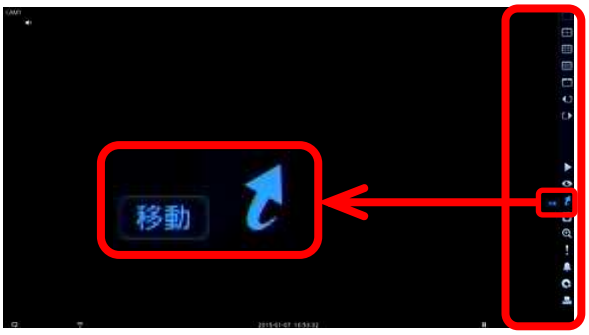
再生（検索）モードで、前面パネルまたはリモコンの MENU ボタンを押して、「調整領域」メニューから、「再生」を選ぶと

が再生・一時停止、方向ボタンが再生機能（I▶、◀I、◀◀、▶▶）として使用できます。
「録画テーブル検索」を選ぶと「録画テーブル」が表示されます。
「調整領域」メニューは MENU ボタンを押すたびに項目が切り換わります。

「調整領域」メニューの「メニュー」を選択すると、再生（検索）メニューが表示され、「スクリーン」を選択すると、スクリーン操作が可能です。
再生（検索）モード中にマウスを画面右に寄せると、再生（検索）メニューが表示されます。

2．日時指定検索を行う

1）再生（検索）メニューから「移動」を選択すると、「日時指定検索」画面が表示されます。



2）日時を入力し、「決定」を選択します。
3）上記２で選択した日時の映像が一時停止状態で頭出しされます。

3．イベントログ検索を行う

1）再生（検索）メニューから「検索」－「イベントログ検索」を選択するか、前面パネルの ALARM ボタンを押すと、イベントログ検索画面が表示されます。過去に発生したイベントログ一覧が表示されます。
2）再生したいログの「時間」を選択すると、映像が画面左上に表示されます。画面左上に表示された映像をマウスクリックすると再生します。
3）または再生したいログを２回マウスクリックすると通常再生画面でその時刻から再生します。
4）再生（検索）メニューから「監視」を選択するか、前面パネルの ALARM ボタンを押すと、ライブ監視画面に戻ります。

【参考】
「時間」がグレーの文字で表示されているものには、録画はありません。

4．再生（検索）モードを終了してライブ監視モードに戻る

1）再生（検索）メニューから「監視」を選択するか、前面パネルの SEARCH ボタンを押す、またはリモコンの■停止ボタンを押すと、再生（検索）モードを終了しライブ監視画面に戻ります。

★バックアップ

Windows パソコンで再生できる動画ファイルを作成し、USB フラッシュメモリに書き出すことができます。

1．バックアップを行う

1）本機前面の USB 端子に USB フラッシュメモリを挿しこむか（メモリを認識するまで約 10 秒お待ちください。）、
（注）USB フラッシュメモリを使用する場合、パソコンで FAT32 でフォーマットされたものをご使用ください。

2）録画テーブルから「バックアップ」を選択すると、バックアップ画面が表示されます。

■データベース　設定する必要はありません。

■開始/終了　※通常は、「始め」「終わり」のチェックなしで、必要な範囲を開始時刻、終了時刻に入力して設定してください。
「始め」「終わり」のチェックを入れると、録画を開始した時刻から現在時刻までのすべてが設定されます。

■チャンネル　バックアップしたいカメラチャンネルを選択します。複数選択可能です。

■パスワード　Windows パソコンで再生する際に必要なパスワードを設定できます。
＜なし＞の場合、パスワードなしで再生することが可能になります。

■ファイル名　バックアップファイルに任意のファイル名をつけることができます。
初期値は日付がファイル名になっております。

（「テキストインのデータ含む」「DVR 名使用」は本書では説明を省略します。取扱説明書をご参照ください。）

3）本機が自動的にバックアップファイルのファイルサイズを計算します。

4）ファイルサイズの計算が終了し、空き容量が十分であれば、実行確認画面が表示されますので「継続」を選択します。

（注１）バックアップファイルのサイズが保存するメディアの容量より大きい場合、空き容量に収まるように終了時刻が自動的に調整されます。

（注２）バックアップファイルの最大容量は 2GB です。2GB 以上のバックアップは、2GB 単位に分割してバックアップされます。（例えば 5GB の場合、2GBx2 ファイルと 1GBx1 ファイルの計 3 ファイル）

5）確認画面が表示されますので、「スタート」を選択します。
バックアップが開始されます。

6）バックアップが終了したら、「バックアップ完了」と表示されます。
「決定」ボタンを押して、USB フラッシュメモリを抜いてください。

2．バックアップファイルの再生を行う

1）バックアップファイルの入った保存メディアを Windows パソコンにセットします。

2）保存されているバックアップファイルをダブルクリックするとプレーヤーが起動します。

【参考】
バックアップファイルの Windows パソコンでの再生について
特別な再生ソフトは必要ありません。
お使いのパソコンの環境や性能によっては、正常に再生できない場合があります。
USB フラッシュメモリからパソコンの内蔵 HDD にコピーするとスムーズに再生できる場合があります。
再生できない場合、高い CPU 性能のパソコンでお試しください。